

高 たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索

主な掲載内容

- 第4回定例会の概要…………… 2～3
- 総括質疑…………… 4
- 一般質問…………… 5～10
- 委員会審査…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

NO. 296

2024.10.31

発行 高崎市議会
編集 広報委員会
高崎市高松町35番地1
TEL 027(321)1281

高崎市初の農福連携によるメロンの水耕栽培（くらぶちメロン村）

02 財産の取得（議案第92号）

競泳用自動審判計時装置一式

浜川プールで使用するため、競泳用自動審判計時装置一式を購入する。

- ▶ 契約金額 3,135万円
- ▶ 契約相手方 株式会社茂木体育器

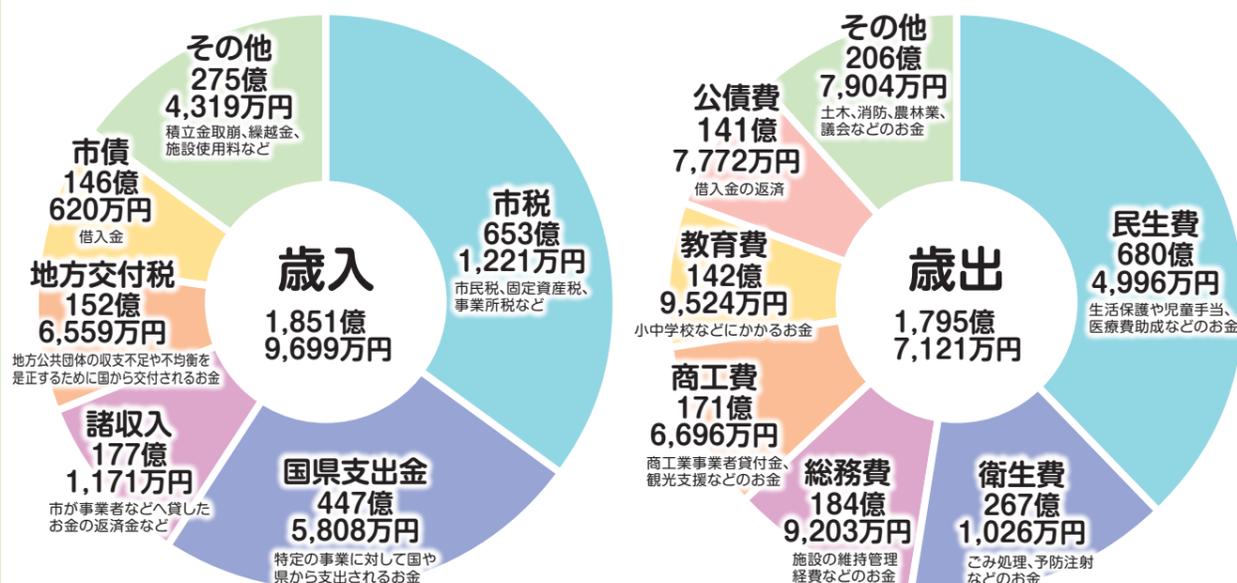


計時装置を設置する浜川プール

03 令和5年度決算を認定（議案第87号、88号）

一般会計は、歳入歳出の差引額が56億2,578万円で、繰り越し財源を控除した実質収支額のうち、35億円を財政調整基金に積み立て、残りは令和6年度に繰り越しました。

一般会計



特別会計

歳入	歳出
785億248万円	775億7,647万円

企業会計

	収益的収入（歳入）	収益的支出（歳出）
水道事業	72億4,982万円	62億3,165万円
公共下水道事業	80億5,481万円	71億7,872万円

※上記の各金額は、万円未満を四捨五入しています。

決算議案への討論

賛成 新風会
健全な財政運営を評価し、本市のさらなる飛躍に期待する。

歳入の根幹である市税収入は前年度より10億4,023万円の増加となり、これまで本市が推進してきた独自のビジネス活性化策や物価高騰への経済対策の効果が表れたものと高く評価する。歳出では、中小企業への支援、各種SOSサービスの推進、合併地域の個性を生かした地域振興策、高崎国際オープン誘致など、さまざまな施策が力強く取り組まれ、着実に成果を上げていることを評価する。

令和6年 第4回定例会

令和5年度決算を認定

令和6年第4回定例会は、下記の日程により22日間の会期で開かれました。本定例会では、一般会計・特別会計の決算認定などの議案14件を原案のとおり可決・認定し、教育委員会委員、公平委員会委員及び人権擁護委員候補者の人事案件10件に同意しました。なお、請願1件は不採択、意見書案4件は可決となりました。また、23人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

定例会の流れ | 会期：令和6年9月6日▶9月27日（22日間）

- 9/6 開会 議案上程、提案説明、総括質疑（*総括質疑の内容はP4）
- 9/9~12 23人の議員が市政に対して一般質問（*詳しい内容はP5~10）
- 9/18~20、24 常任委員会、特別委員会で付託された議案を審査（*詳しい内容はP11）
- 9/27 閉会 付託された議案等の委員長報告～討論～議決 ほか（*審議結果はP12）

PICK UP 本定例会で可決した主な議案

01 令和6年度一般会計補正予算 歳入歳出 23億9,314万円の増額（議案第96号）

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ23億9,314万円を追加し、予算の総額を1,755億4,469万円とする。

■ **情報システム経費** 6億1,883万円
基幹情報システムの標準化に伴い、システム移行や端末機器等を購入するための経費。

■ **放課後児童クラブ委託料** 9,599万円
常勤の放課後児童支援員を2人以上配置した場合の補助基準額が創設されたことに伴い増額する。

■ **住環境改善や空き家対策の助成金を増額**
申請件数の増加に対応するため、各助成金を増額する。
▶ 住環境改善助成金 2,500万円
▶ 空き家緊急総合対策助成金 2,000万円

■ **榛名湖温泉ゆうすげ空調設備更新工事** 1億1,720万円

館内全体に設置されている冷暖房の空調設備のパイプの腐食が進んでいることから、早急な改修を実施する。



■ **給食情報システム改修委託料** 499万円
令和7年度から実施予定の給食費一部無償化事業に向けて、システム改修を行う。

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいいます。(※質問者順に掲載)

質問 職場環境改善事業の補助対象としている暑さ対策は。
答弁 工場や事務所に設置する空調設備の導入を対象としており、工場用エアコンや大型扇風機、作業員一人一人を冷却するスポットクーラーなどに多く活用された。また、遮断熱塗装の施工でも多くの事業者を活用された。

質問 子どもの頃から適切な紫外線対策が重要と考える。登下校における日傘の使用は見かけるようになったが、小中学校でのサンングラスの使用についての考えは。
答弁 環境省のマニュアルでは、子どもの頃に浴びた紫外線の影響が、何十年もたつてから現れることが指摘されているが、色の濃いサンングラスの使用が逆効果になることも例示されている。当面は医師の指導、助言の下、児童・生徒の健康状況に応じた個別の対応をしていきたい。

暑さ・紫外線対策



ことつ 後藤 彰 (新風会)



質問 新型コロナウイルスワクチンの定期接種において本市が使用するワクチンの種類は。また、市民への周知方法は。
答弁 使用するワクチンは、国から示されたワクチンの中から医療機関が選択し、直接購入することになる。接種の予約を受け付ける際には、使用するワクチンを必ず伝えるよう医療機関に対して周知するとともに、市ホームページで実施医療機関ごとに使用するワクチンが確認できる一覧表を掲載する予定である。

質問 新高浜クリーンセンターで発電する貴重な再生エネルギーの活用方法は。
答弁 発電する再生エネルギーは、市有施設などの公共性の高い施設等に供給することで、電力の地産地消による脱炭素社会の実現と、地域経済の活性化を進めていきたい。実際の供給先は、今後たかさき新電力会社と協議し、決定する。

新型コロナウイルス感染症予防接種の実施



にいくら 哲郎 (無所属)



たかさき新電力株式会社

質問 市民サービスが多様化する一方、人口減に伴い財政基盤は縮小し、限られた資源で行政運営を行う必要がある。デジタル化施策の取り組みは。
答弁 近年導入したサービスには、ミライロID、高崎通貨、高崎市子育てアプリ、高崎市公式LINEがある。本年度は新たに、児童虐待現場での対応の迅速化を図るため、児童相談システムなどの導入を進めている。

質問 デジタル化推進に係る組織体制および人材の育成は。
答弁 国や県の政策を集約し、利活用を検討する窓口の一元化のため、令和3年度からデジタル化担当を設置し、市民サービス向上や業務効率化に取り組んでいる。本年度は、機運の醸成と人材育成のため、若手・中堅職員を対象にDX研修を新設し、先進自治体の事例を学びながらデジタルスキル向上を図っている。

高崎市行政のデジタル変革



たかはし 淳 (新風会)



質問 本年度から、常勤の放課後児童支援員を2人以上配置した場合の国の補助基準額が拡充された。本市の対応は。
答弁 本市では、現行の国基準からの増額分を市の委託料に反映することを予定しており、今回の市議会定例会に補正予算として提出した。

質問 育成支援体制強化事業の国の補助基準額150万円に対し、本市が20万円としている理由は。また、施設や設備の修繕費負担の考え方は。
答弁 令和3年度中の各クラブの会計事務所への委託料の平均が約20万円であったため、令和4年度から委託料の加算額として対応したものである。引き続き、各クラブの外部委託の現状等を注視しながら適切な上限額を検討したい。修繕については、軽微なものはクラブ側が自費工事で対応し、大規模なものは市から施設整備補助金を交付している。

放課後児童クラブ



かねこ かずゆき (日本共産党)



総括質疑

令和5年度決算などに対する総括質疑の一部を掲載します。
※QRコードから録画映像をご覧ください。

市民クラブ



みつじ ひろゆき (のぶひて)



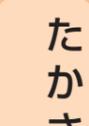
質疑 令和5年度決算の経常一般財源が4年度と比較して約23億円増加している理由は。
答弁 経常一般財源は使途に制限のない歳入であり、地方税、普通交付税、地方消費税交付金等が大きな割合を占める。令和4年度と比較して、市税が約10億円、普通交付税が約8億円増加したことが、増加の主な要因である。

質疑 令和5年度の高崎ものづくり海外フェアの成果は。
答弁 シンガポールやタイのバンコクで、PRイベントの開催や国際展示会への出席を実施した。現在も商談が継続している企業もあるほか、高崎産の食などが現地メディアに大きく取り上げられた。

質疑 おとしよりぐるりんタクシーの令和5年度の成果は。また、有料化の考えは。
答弁 おとしよりぐるりんタクシーは乗り降り自由、利用料無料、事前予約・登録不要であり、地域住民から大変好評である。令和5年度には長

野地区に新ルートを創設し、現在13ルートで運行している。有料化すると道路運送法のさまざまな規制を受け、特色を發揮できなくなるため、無料での運行を継続していきたい。

たかさき未来



たかさき 未来 (三島)



お店ぐるりんタクシーは、事業効果等をしっかりと検証すべきと考えるが、本事業を重点事業とし続けるのか。
答弁 本事業は高齢者から家族連れまで幅広く利用され、街中の手軽な移動手段として好評を得ている。今後一層の利用促進につながる運行に努めていく。

質疑 令和5年度における水道施設の耐震化の状況は。
答弁 基幹管路を700メートル整備し、正観寺・県央幹線パイプス管の複線化が終了したほか、布設替え等の実施により、令和5年度末での基幹管路の耐震化適合率は46.9%となっている。水道施設については若田浄水場の耐震化を計画的に進めており、耐震化率の向上を見込んでいる。

行政視察報告

所管する事務に関する調査のため、他の自治体等の先進的な取り組みについて行政視察を行いました。

総務常任委員会 (7月10日~12日)

- 東京都渋谷区：行政手続オンライン化の取り組み
- 兵庫県神戸市：働き方改革の推進
- 和歌山県和歌山市：防災と災害対応の取り組み

教育福祉常任委員会 (7月10日~12日)

- 鹿児島県霧島市：霧島市子ども館
- 鹿児島県鹿児島市：天文館図書館
- 福岡県北九州市：介護ロボット等の導入支援・普及促進

市民経済常任委員会 (7月23日~25日)

- 石川県白山市：第6次産業活性化事業及び地産地消推進計画
- 石川県小松市：小松市ライドシェア「i-Chan」の概要と現状
- 愛知県名古屋市：循環型社会実現への取り組み

建設水道常任委員会 (7月23日~25日)

- 宮城県名取市：電力スマートメーター通信ネットワークを活用した名取市スマート水道メーター
- 青森県八戸市：八戸市合葬墓
- 北海道函館市：函館市西部地区再整備事業

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 請願第2号
日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択について

同意した人事案件

- 高崎市教育委員会委員
横田 裕正 氏
- 高崎市等公平委員会委員
たきざわ えいち 瀧澤 英一 氏
- 人権擁護委員候補者

よこた ひろまさ 横田 裕正 氏	ひらまき ひろし 松田 久枝 氏
たきざわ えいち 瀧澤 英一 氏	ひらまき ひろし 松田 久枝 氏
つちや えりこ 土屋 恵理子 氏	まつだ ひさえ 松田 久枝 氏
おがわ まさはる 小川 正晴 氏	からさわ ひろし 唐澤 宏 氏
いせがわ さとし 伊勢川 聡 氏	いじま つよし 飯島 毅 氏
さかもと くみこ 坂本 久美子 氏	はない こうき 花井 好機 氏

肥料の原料管理や肥料の品質管理などを定めた「品質管理計画」を作成し、農林水産大臣による確認を受けることが義務付けられた肥料。品質管理計画に基づいて生産されることで、品質管理が徹底され肥料成分が安定することから、肥料成分を保証することが可能になることに加え、他の肥料と混ぜて生産・販売することができるようになる。

仕事をしながら家族の介護も行っている人のこと。

質問 平和への意識を高めるため、広島への修学旅行を推進していく考えは。
答弁 中学校の修学旅行は、歴史や伝統などを学ぶために関西方面が多く、防災教育に力を入れていく学校は東北に赴くなど、各学校が学校の実情や教育課程等を基に行き先を決定している。広島を訪れることは、平和について考える機会として大変意義深いものと考えているが、移動距離による生徒の活動時間の制限や予算が課題と考えている。

質問 2029年に群馬県で全国障害者スポーツ大会が開催される。コロナ禍の影響で激減している競技人口を増やすための、本市の取り組みは。
答弁 関係機関を通じて障害者スポーツ大会等の案内を送付し、情報提供に努めているほか、軽スポーツ出前講座で障害のある人でも気軽に参加できる種目を取り入れるなど、障害者スポーツの裾野を広げる取り組みも実施している。

質問 本市の外国人住民数は、この10年間で約2倍に増加しており、南上並複留學生住宅において、本市が民間の共同住宅を借り上げ、令和4年度から留學生に加えて介護施設等で働く外国人労働者の住宅としても活用している。令和6年8月末の入居率は約7割であり、現在も福祉施設から多くの問い合わせがある。
質問 農業振興における汚泥肥料の普及に向けての課題は。
答弁 汚泥肥料で育てた農産物に対する消費者のネガティブなイメージをいかに払拭するかという点が課題である。また、従来の汚泥肥料は品質が不安定で農業者が使いにくいことも課題であったが、国が新たに菌体りん酸肥料という規格を定め、成分の保証や品質の安定を図り、使いやすい肥料の生産を推進している。

質問 本市のスポーツ振興への取り組みは。
答弁 市民がたくさんのスポーツに触れられるよう「見る」「見る」「支える」の各分野で積極的に取り組んでいる。
質問 本市のスポーツ施設の利用における高齢者や障がい者、市民への優遇措置は。
答弁 浜川温水プールと新町温水プールでは、高齢者や障害者の利用料を一般の半額程度にしている。清水善造メモリアルテニスコートでは、居住地等の要件によらず利用条件は同一としているが、今後、利用時間の区分を見直して予約を取りやすくするなど、利便性向上に向けて検討する。

質問 市内循環バスぐるりんは時刻どおりの運行や停留所に屋根やベンチの設置要望があるが、改善に向けた対応は。
答弁 屋根やベンチの設置は、バス停周辺の歩道幅などの道路状況に加え、道路管理者など関係機関と調整を要することから、容易ではないと考えている。利用者がバス停で待つ時間が可能な限り短くなるよう、デジタル技術の活用により、さらなる利便性の向上を図っていききたい。
質問 認知症対策として、加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度を設ける考えは。
答弁 日常生活に支障がある難聴で障害者手帳の交付を受けている人には現在補聴器の購入助成があるが、聴覚に限らず他の身体的な障害も、それぞれに補装具があるため、独自の助成制度については公平性の観点からも慎重に研究する必要があると考えている。

質問 町内会によりごみステーション数に大きな差がある。大きな町内では環境保健委員が1人でごみステーションを管理するのは無理があり、実情と違うため、環境保健委員の定数を町内に1人ではなく、町内会の世帯数に応じて増やし、それぞれに均等割報酬を支払うことができないか。
答弁 環境保健委員の報酬は、環境保健活動の対価として固定額を支払う均等割額と、世帯数を基礎にして算出する世帯割額の合計としている。均等割額については、業務量の大小にかかわらず一律であり、世帯数やごみステーション数に応じて配分を変えることは難しいと考えている。一方、世帯割額は、世帯数を基準に算出しているため、業務量の違いにより報酬は変わることになっており、令和5年度には1世帯当たりの単価の引き上げも実施している。

質問 令和6年1月30日に吉井分屯地内で発生した林野火災の内容と、今後の改善策は。
答弁 陸上自衛隊吉井分屯地からの報告によると、射撃試験時に何らかの火種が発生した可能性は否定できず、約700平方メートルの野草が焼失したとのことだった。処置対策としては、射撃試験場所から外部に火種が漏れないような改修を実施すること、迅速な初期消火に努めること、防火帯の整備を引き続き行うことなどが示されている。
質問 老朽化している牛伏山の展望台を改修する考えは。
答弁 牛伏山の展望台は天守閣を模した建物で、牛伏山のランドマークとなっている。建設から35年経過し、幾度かの改修を経て現在に至っているが、老朽化が顕在化している。今後も必要な修繕を講じながら、適切に維持管理していきたいと考えている。

質問 新型コロナウイルス感染症の予防接種健康被害救済制度の申請状況は。また、定期接種となることで制度の取り扱いに違いはあるのか。
答弁 令和6年9月1日現在、本市では34件の申請があり、認定が23件、否認が4件、審査中が7件で、このうち死亡事例の認定は2件であった。定期接種となったことで請求期限が設けられたほか、定期接種対象外の人は任意接種となるため、健康被害があった場合は医薬品副作用被害救済制度を活用することになる。
質問 ビジネスケアラに対する本市の取り組みは。
答弁 本市では職員が仕事と介護を両立できるよう、年度で5日間取得可能な有給の短期介護休暇のほか、無給の休暇として介護休暇や介護時間などの休暇制度を整備している。今後も、制度の周知と職場環境の整備に努めたい。

農業振興地域の整備に関する法律に基づき、土地利用計画で農地として利用すべき農地として指定されている農地のこと。やむを得ない事情でこの農地を他用途に利用するためには審査が必要となる。

質問 平和への意識を高めるため、広島への修学旅行を推進していく考えは。
答弁 中学校の修学旅行は、歴史や伝統などを学ぶために関西方面が多く、防災教育に力を入れていく学校は東北に赴くなど、各学校が学校の実情や教育課程等を基に行き先を決定している。広島を訪れることは、平和について考える機会として大変意義深いものと考えているが、移動距離による生徒の活動時間の制限や予算が課題と考えている。

質問 堤ヶ岡飛行場跡地は広大な青地農地である。本市の農業政策における位置付けは。
答弁 当該地は、新しい産業拠点として活用する方針が示されている。この事業では広大な農地が減少することとなるが、荒廃農地の解消や農用地を確保するなど、都市的土地利用と農業の健全な調和を図り農業振興に努めていく。

質問 本市の外国人住民数は、この10年間で約2倍に増加しており、南上並複留學生住宅において、本市が民間の共同住宅を借り上げ、令和4年度から留學生に加えて介護施設等で働く外国人労働者の住宅としても活用している。令和6年8月末の入居率は約7割であり、現在も福祉施設から多くの問い合わせがある。
質問 農業振興における汚泥肥料の普及に向けての課題は。
答弁 汚泥肥料で育てた農産物に対する消費者のネガティブなイメージをいかに払拭するかという点が課題である。また、従来の汚泥肥料は品質が不安定で農業者が使いにくいことも課題であったが、国が新たに菌体りん酸肥料という規格を定め、成分の保証や品質の安定を図り、使いやすい肥料の生産を推進している。

質問 市内循環バスぐるりんは時刻どおりの運行や停留所に屋根やベンチの設置要望があるが、改善に向けた対応は。
答弁 屋根やベンチの設置は、バス停周辺の歩道幅などの道路状況に加え、道路管理者など関係機関と調整を要することから、容易ではないと考えている。利用者がバス停で待つ時間が可能な限り短くなるよう、デジタル技術の活用により、さらなる利便性の向上を図っていききたい。
質問 認知症対策として、加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度を設ける考えは。
答弁 日常生活に支障がある難聴で障害者手帳の交付を受けている人には現在補聴器の購入助成があるが、聴覚に限らず他の身体的な障害も、それぞれに補装具があるため、独自の助成制度については公平性の観点からも慎重に研究する必要があると考えている。

質問 令和6年1月30日に吉井分屯地内で発生した林野火災の内容と、今後の改善策は。
答弁 陸上自衛隊吉井分屯地からの報告によると、射撃試験時に何らかの火種が発生した可能性は否定できず、約700平方メートルの野草が焼失したとのことだった。処置対策としては、射撃試験場所から外部に火種が漏れないような改修を実施すること、迅速な初期消火に努めること、防火帯の整備を引き続き行うことなどが示されている。
質問 老朽化している牛伏山の展望台を改修する考えは。
答弁 牛伏山の展望台は天守閣を模した建物で、牛伏山のランドマークとなっている。建設から35年経過し、幾度かの改修を経て現在に至っているが、老朽化が顕在化している。今後も必要な修繕を講じながら、適切に維持管理していきたいと考えている。

質問 令和6年1月30日に吉井分屯地内で発生した林野火災の内容と、今後の改善策は。
答弁 陸上自衛隊吉井分屯地からの報告によると、射撃試験時に何らかの火種が発生した可能性は否定できず、約700平方メートルの野草が焼失したとのことだった。処置対策としては、射撃試験場所から外部に火種が漏れないような改修を実施すること、迅速な初期消火に努めること、防火帯の整備を引き続き行うことなどが示されている。
質問 老朽化している牛伏山の展望台を改修する考えは。
答弁 牛伏山の展望台は天守閣を模した建物で、牛伏山のランドマークとなっている。建設から35年経過し、幾度かの改修を経て現在に至っているが、老朽化が顕在化している。今後も必要な修繕を講じながら、適切に維持管理していきたいと考えている。

質問 令和6年1月30日に吉井分屯地内で発生した林野火災の内容と、今後の改善策は。
答弁 陸上自衛隊吉井分屯地からの報告によると、射撃試験時に何らかの火種が発生した可能性は否定できず、約700平方メートルの野草が焼失したとのことだった。処置対策としては、射撃試験場所から外部に火種が漏れないような改修を実施すること、迅速な初期消火に努めること、防火帯の整備を引き続き行うことなどが示されている。
質問 老朽化している牛伏山の展望台を改修する考えは。
答弁 牛伏山の展望台は天守閣を模した建物で、牛伏山のランドマークとなっている。建設から35年経過し、幾度かの改修を経て現在に至っているが、老朽化が顕在化している。今後も必要な修繕を講じながら、適切に維持管理していきたいと考えている。

平和への取り組み
農業振興
三島久美子
(たかさぎ未来)

外国人への生活支援
農業における汚泥肥料の課題
逆瀬川義久
(公明党)

地域公共交通の課題
加齢性難聴者に対する支援
伊藤敦博
(日本共産党)

吉井分屯地で発生した林野火災と防火体制
牛伏山を活用した吉井地域の観光振興
角倉邦良
(無所属)

就労継続支援事業所
障害者スポーツ
中島輝男
(市民クラブ)

本市のスポーツ振興
大河原吉明
(新風会)

各町内のごみステーションの管理
谷川留美子
(無所属)

感染症の現状
働き方改革
堀口順
(市民クラブ)

質問 当初の計画にあった海外の観光事務所等の誘致について、今後の考えは。

回答 国際的な視点からの誘致については、日本各地でインバウンド需要が復活する中、本市においても多言語対応の案内や支援をより充実させ、国際化を視野に入れた事業展開を市全体で図っていききたい。

質問 生活環境被害を出している有害鳥獣への対策は。

回答 住宅などの生活環境への被害を防止するため、平成30年度から鳥獣捕獲用の箱わなの貸し出しを行っており、令和5年度の捕獲数は18頭だった。また、平成31年度からは箱わなの運搬から設置、回収までの捕獲業務の猟友会への委託も実施しており、令和5年度の捕獲数は70頭だった。

質問 地元の踊りの指導など、町内会活動への功労者を表彰する制度を創出する考えは。

回答 町内会活動への功労者の表彰については、現在の功労者表彰制度との整合性や、町内会活動の活性化にどれほど寄与するかなど、総合的に判断する必要があることから、今後情報収集に努め、研究したいと考えている。

質問 公民館の人と人とのつながりを育む拠点としての役割を強化し、地域づくりセンター(コミュニティセンター)に移行する考えは。

回答 本市の地区公民館は、地域の各種団体と連携し、特色のある事業に取り組みながら、住民の学習活動を地域づくりに反映させながら地域力を育むという機能を果たしている。今後、地域のための社会教育施設として、地域づくりを進めるための事業に引き続き取り組んでいきたい。

質問 10年前の基本計画策定以降、中央公民館の移転や子ども関連施設の設置等の変化があり、集客施設としての目的が不透明となっているように思うが、本市の考えは。

回答 市有施設の整備は、市民のための施設とすることが大前提であると考えているが、栄町の再開発事業は集客を目的とした複合ビルであり、高崎のシンボルとなる施設であるため、都市集客施設としての機能を果たせるようテナント誘致や運用面について検討を重ねていく。

質問 近年では危険な暑さが続き、社会体育施設へのエアコン整備が必要だと考えるが、市内の体育館へのエアコン設置の状況は。

回答 本市の体育施設のうち、体育館として位置付けている施設は12館で、このうちエアコンが設置されているのは5館である。避難所の役割を併せ持つ体育館もあり、空調設備の整備は避難者の健康を守る上でも重要と認識しているため、今後研究していききたい。

質問 公明党のひととのつながりを育む拠点としての役割を強化し、地域づくりセンター(コミュニティセンター)に移行する考えは。

回答 本市の地区公民館は、地域の各種団体と連携し、特色のある事業に取り組みながら、住民の学習活動を地域づくりに反映させながら地域力を育むという機能を果たしている。今後、地域のための社会教育施設として、地域づくりを進めるための事業に引き続き取り組んでいきたい。

質問 本市で発生した公務災害について、過去5年間の発生件数、内容、発生場所は。

回答 公務災害の発生件数は、令和元年度が51件、2年度が61件、3年度が78件、4年度が57件、5年度が81件である。主な内容は転倒などによる打撲や骨折、調理作業中の切り傷・やけど等であり、発生場所は保育所や学校施設が59%、剪定や道路補修等の作業現場が23%、通勤中が12%、事務室等が6%となっている。

高崎市都市集客施設基本計画とその後



高橋 美奈子
(市民クラブ)



本市のスポーツ施設有害鳥獣対策



中村 さとみ
(公明党)



地域活動活性化の取り組み



横田 卓也
(市民クラブ)



学校の給食調理場における公務災害部活動指導員の取り組み



林 恒徳
(市民クラブ)



質問 建設検討会議でまとめた基本構想の中では、体験工房、展示室、ミュージアムショップ、カフェ、多目的室を設置する方針が示されている。諸室の配置や管理手法については、今後、群馬県達磨製造協同組合や高崎観光協会と共に研究していききたい。

回答 建設検討会議でまとめた基本構想の中では、体験工房、展示室、ミュージアムショップ、カフェ、多目的室を設置する方針が示されている。諸室の配置や管理手法については、今後、群馬県達磨製造協同組合や高崎観光協会と共に研究していききたい。

質問 東口再開発事業は、基本計画が示されてから11年が経過し、計画変更があった。市有施設について、再度、基本計画を市民に示し、パブリックコメントを実施すべきと考えるが、本市の考えは。

回答 計画の変更点は、中央公民館の移転とパブリックゾーンの縮小のみであり、改めて基本構想として公表する予定はない。市有施設の詳細な計画については、法定再開発組合設立後に市民に示したい。

質問 国の実証事業には先進的な取り組みが求められるため、まずは本市で実績のある子ども服の無料提供活動や古着回収の充実を図りたいと考えている。今後、対象となった実証事業を参考に先進的な取り組みについて研究したい。

回答 国の実証事業には先進的な取り組みが求められるため、まずは本市で実績のある子ども服の無料提供活動や古着回収の充実を図りたいと考えている。今後、対象となった実証事業を参考に先進的な取り組みについて研究したい。

質問 令和6年8月末現在、登録世帯数は1027世帯、利用件数は758件である。利用者からは感謝の声を数多くいただいております。今後のサービスの拡充を図っていくとともに、多くの人に活用されるよう周知していききたい。

回答 令和6年8月末現在、登録世帯数は1027世帯、利用件数は758件である。利用者からは感謝の声を数多くいただいております。今後のサービスの拡充を図っていくとともに、多くの人に活用されるよう周知していききたい。

高崎だるまミュージアム(仮称)



三井 暢秀
(市民クラブ)



学校図書館と高崎市の図書館

高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業



宮原 綾香
(たかさぎ未来)



町内会が設置管理する街路灯子ども服のリユース



小野 聡子
(公明党)



高齢者福祉施策の現状



樋口 哲郎
(新風会)



委員会審査

総務常任委員会

質疑 令和5年度の移住支援金事業の実績、地域別の内訳は。

答弁 令和5年度は4年度と比べて単身・世帯共に9件ずつ増加し、単身40件、世帯58件の計98件で、移住支援金事業を実施している全国の自治体の中で最大の件数となった。

地域別の内訳は、高崎地域が82件で全体の84%を占めており、吉井地域が6件、群馬地域が5件、新町地域が3件、箕郷・榛名地域がそれぞれ1件であった。

市民経済常任委員会

質疑 高崎の食発信事業の実績と効果は。

答弁 令和5年度は市内の各種イベントへの参加のほか、横浜赤レンガ倉庫での全国ふるさとフェアや、JR御徒町駅前の広場での単独イベントに出展した。さらに、ラ・フェスタ・カラスガワを初開催するなど、本市の魅力や特色を積極的にPRすることで、高崎の食のブランドが推進された。



ラ・フェスタ・カラスガワ

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 令和5年度の児童虐待の通告件数は。

答弁 本市が対応した児童虐待の通告件数は419件であったが、このほかにも県が対応した高崎市分は約400件と伺っている。今後、本市に児童相談所が開設されると、県の対応した分も合わせた約800件分の対応が想定される。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 令和5年度の労使会館建設事業の建設等工事および解体工事の内容は。

答弁 令和5年7月から6年1月にかけて既存施設の解体工事を行い、続けて建設工事に着手した。建設工事は債務負担行為により2カ年で進めている。

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 送迎用バス安全装置設置支援事業費補助金の実績は。

答弁 放課後等デイサービスなどの送迎用車両において、子どもが置き去りになる事故を防ぐための安全装置の設置費用の補助を行い、令和5年度は59事業所、124台の車両に対し補助を行った。

質疑 体育館空調設備設置工事の実績は。

答弁 令和5年度は、部活動で体育館の利用頻度が高く、災害時に避難者が多かった並榎中、大類中、八幡中の3校に空調設備を設置した。

建設水道常任委員会

質疑 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業と群馬中央第二土地区画整理事業の進捗状況は。

答弁 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業の令和5年度末の進捗率は69.7%で、5年度の主な事業として13件の道路築造工事、8件の物件移転補償等を行った。

また、群馬中央第二土地区画整理事業の令和5年度末の進捗率は61.7%で、5年度の主な事業として14件の道路築造工事、5件の物件移転補償等を行った。

環境施設建設特別委員会

質疑 新高浜クリーンセンターの最終的な財源の内訳は。

答弁 事業費約400億円のうち、循環型社会形成推進交付金が約30%で115億円、起債および基金が約65%で265億円、一般財源が約5%で20億円である。

都市集客施設整備特別委員会の設置目的を変更しました。

■変更後の設置目的

高崎市都市集客施設基本計画に基づく再開発ビルの整備、労使会館の建設及び高崎スマートインターチェンジ産業団地A・B地区の整備について調査研究する。



●12条点検

建築基準法第12条で定められた定期点検。一定の用途・規模を満たす公共建築物について、建築物、建築設備及び防火設備の損傷・腐食・劣化等の定期点検が義務付けられている。

質問 農福連携事業である倉測就労継続支援施設の概要は。
答弁 くらぶちメロン村は利用定員20人の就労継続支援B型サービス事業所で、障害者支援、農業分野それぞれの専門職員が支援に当たる。また、冬季の加温には地域の間伐材を燃料とする木質バイオマスボイラーを導入し、山林整備にも寄与する施設である。

質問 森林環境譲与税の利用目的と活用例は。
答弁 森林環境譲与税は、森林整備およびその促進に関する費用に充てることを目的としており、国民1人当たり年額千円の森林環境税が課税されている。本市では、森林経営管理制度を活用した森林整備や、倉測就労継続支援施設のボイラー導入経費の一部に、また、観音山・自然歩道整備事業や牛伏山を花で囲むプロジェクトなどの森林環境をPRできる事業に活用している。

障害者就労支援事業所(倉測メロン村) 本市の森林環境譲与税

長壁 真樹 (新風会)

質問 マイナ保険証を利用した際のメリットは。
答弁 医療機関において、患者の同意に基づき、過去の特定健診や薬剤などの情報を共有できるため、より適切な医療や薬の処方が可能となる。また、高額医療費制度の限度額を超える支払いの免除を受ける場合、これまで必要だった認定証の提示が不要となるなどのメリットがある。

質問 町内会の回覧板をデジタル化する電子回覧板について、本市の認識と評価は。
答弁 電子回覧板は、スマートフォンやタブレットなどで伝えたい情報を一斉に発信でき、過去の情報を見返すことができるなど、情報共有の即時性や利便性の面で有効な手段である。一方、専用のアプリの使用料の捻出や管理運用を担う人材の確保、操作に不安のある住民への対応などの課題もあると認識している。

マイナ保険証の普及と利用促進 町内会の負担軽減

丸山 寛 (公明党)

質問 公共施設を総合的に維持管理する専門部署が必要だと思うが、本市の考えは。
答弁 施設管理は、施設の現状等を最も把握している所管部署が行うことが効率的な行政運営の観点からも望ましいと考えている。また、建築や設備関係の知識・経験が求められる場合には、関係部署と連携を図りながら適切な維持管理に努めている。

質問 学校施設における12条点検要正項目への対応状況は。また、目視では点検できない箇所にも人間の力を借りた点検を導入する考えは。
答弁 是正項目のうち、外壁の損傷、ブロック塀不良や給食室の排水管不良、床や天井の劣化などに対しては、優先すべき箇所から必要な修繕等を実施している。また、民間の点検は、専門的な調査が必要な場合もあるため、導入の可能性について研究したい。

公共施設維持管理

荒木 征一 (たかさき未来)

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください。

- 保育所・認定こども園に係る退職手当共済への公費助成に関する意見書
- 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書
- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書
- 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書



議案等審議結果

件名	結果
報告	
第10号 専決処分の報告	-
第11号 専決処分の報告	-
議案	
第87号 令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定	認定
第88号 令和5年度水道事業会計及び公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定	可決及び認定
第89号 市道路線の廃止	可決
第90号 市道路線の認定	可決
第91号 請負契約の変更(高浜クリーンセンター建設工事)	可決
第92号 財産の取得(競泳用自動審判計時装置一式)	可決
第93号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号及び特定個人情報の利用並びに特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決
第94号 国民健康保険条例の一部改正	可決
第95号 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可決
第96号 令和6年度一般会計補正予算(第3号)	可決

件名	結果
第97号 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
第98号 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
第99号 令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第100号 福祉医療費助成条例の一部改正	可決
第101号 教育委員会委員の任命同意	同意
第102号 高崎市等公平委員会委員の選任同意	同意
第103号 第110号 人権擁護委員候補者の推薦	同意
請願	
第2号 日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択	不採択(少数)
意見書案	
第2号 保育所・認定こども園に係る退職手当共済への公費助成に関する意見書	可決
第3号 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可決
第4号 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	可決
第5号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決

※不採択(少数)表記以外は全会一致です。

賛否一覧表(上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。)

議員名	新風会 19人																			市民クラブ 6人						公明党 5人					たかさき未来 3人			日本共産党 2人		無所属 新倉哲郎	無所属 角倉邦良	無所属 谷川留美子	
	渡辺隆宏	高橋淳	樋口哲郎	大河原吉明	青木和也	後藤裕之	時田裕之	青柳隆	根岸赴夫	渡辺幹治	白石隆夫	長壁真樹	大竹隆一	松本賢一	柄沢高男	石川徹	後閑賢二	丸山和久	柴田和正	横田卓也	三井暢秀	中島輝男	林恒徳	堀口順	高橋美奈雄	中村さと美	小野聡子	新保克佳	丸山覚	逆瀬川義久	宮原綾香	荒木征二	三島久美子	金子和幸	伊藤敦博				
請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×

※賛成者は○、反対者は×としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

次回の定例会(予定)

11月 定例会		
29日(金)	午後1時	開会、会期の決定、議案の提案説明など
12月		
2日(月)	午後1時	一般質問
3日(火)		
4日(水)		
5日(木)		
9日(月)	午前10時	総務常任委員会
	午後1時30分	教育福祉常任委員会
10日(火)	午前10時	市民経済常任委員会
	午後1時30分	建設水道常任委員会
16日(月)	午後1時	委員長報告、議案等の議決、閉会

議会をしてみよう

傍聴席で

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会棟5階にある傍聴受付で住所・氏名を記入して入場してください。

傍聴席は、車いす用の2席を含め78席あります。

ぜひお出かけください。



インターネットで

本会議の様子をライブ中継や録画配信しています。

市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。

スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。

